

世田谷区町会総連合会「世田谷区町会総連合会ホームページ作成」

団体名称	世田谷区町会総連合会
事業名	世田谷区町会総連合会ホームページ作成
助成対象事業区分	分野別モデル事業(市民活動事業)
事業実施期間	平成21年6月25日～平成22年3月4日

町会・自治会の概要

団体名称	世田谷区町会総連合会	設立年月日	昭和45年4月1日
構成団体数	196団体 (平成21年5月末現在)	構成世帯数	245,431世帯 (平成20年6月末現在)

【事業の概要】

- ・町会総連合会総会アピール「町会・自治会の魅力をさらに発信しよう!!」を採択し、町会・自治会活動の更なる活性化、会員加入促進に向けた取り組みへの決意を新たにした。
- ・「広報のICT化検討5人委員会」を設置し、ICT化の専門知識技術を有する委託事業者の補助を受けて、機能、掲載内容、構成やデザインなどを検討し、町会・自治会活動のPR機能、単一町会・自治会の応援機能、参加・交流・新鮮で魅力がある情報の発信機能を兼ね備えたホームページを作成した。
- ・参加者数は、町会・自治会長ほか全193人であった

世田谷区内の町会・自治会の多くは昭和20、30年代に設立され、幾多の変遷を経て今日に至っている。世田谷区町会総連合会が規約等を整備して発足したのは昭和45年4月であるが、それまで全体をまとめる組織はなく、各町会・自治会は独自の地域活動を行ってきた。

町会・自治会は、行政出張所区域(27地区)ごとに地区連合会を結成し、その上部団体に地域ごとに5つの地域連合会があり、全体を統括するのが町会総連合会となっている。

なお、町会加入率については、年々減少傾向にある。世田谷区を大きく分けると5地域に区分でき、古い戸建てや畑などが残る烏山・砧地区は比較的加入率が高い。集合住宅地の多い世田谷・北沢地区では加入率が低い傾向にある。

助成を活用する取り組みに至った背景、問題意識等

町会・自治会は、地域コミュニティの基盤であり、会員相互が助けあい、親睦を図りな

がら安全・安心な誰もが暮らしやすいまちを目指して活動しており、様々な地域課題の解決に向けて、町会・自治会の活性化は大変重要であると考えます。また、町会・自治会活動の活性化のためには、新規会員の加入や、活動の担い手の開拓が必要である。

平成 18 年度に世田谷区が世田谷区全 200 町会に実施した「町会・自治会アンケート結果のまとめ」（回答：150 町会）によると、町会・自治会活動の問題点として、「役員のなり手がいない」、「行政の依頼事項が多くて負担」、「特定の人に仕事が集中してしまう」、「加入率が低い」、「町会・自治会活動に無理解な人が多い」という回答が上位 5 項目であった。なお、清掃、リサイクル、防犯、防災、地域の見守り活動、会員の親睦事業、募金協力、回覧、掲示板、地域の教育機関や福祉施設への運営協力など、様々な日常の活動を行いながら、奮闘する地域も少なくないことが分かった。

中でも、「加入率が低い」、「町会・自治会活動に無理解な人が多い」の 2 つは、町会・自治会活動の PR 不足もその一因と考えられ、これまでの掲示板や、地域住民一般を対象にした祭り、避難所運営訓練などの機会をとらえた PR に加え、ことに比較的若い世代への PR 手法の工夫も求められていると考えた。従来の PR 手法に加えて、インターネットがあれば、いつでも誰でも閲覧できる町会・自治会のホームページを開設し、広く情報発信を図り、会員の加入促進や活動の担い手発掘につなげていこうとすることは時宜を得た試みであると考えホームページの作成事業を実施することとなった。

事業を実施する上での問題点、創意工夫を行ったところ

世田谷区町会総連合会のホームページ作成にあたり、5 つの地域の町会・自治会連合会から推薦された役員クラスの委員で検討を進めた。委員のメンバーは、現職で自営業としてホームページ制作を行っている方、地域の保護司の方、ミニコミ誌の制作を行っている方等と町会・自治会活動に詳しいまちづくりの専門家（コンサルタント）を交えてホームページ作成を行うこととなった。町会・自治会の活動を現場で担っている委員により検討が進められたこと、その委員会運営を補助するコンサルタントが地域まちづくりと ICT 技術の双方の専門家であったことが、ホームページ作成が成功した要因であったと考えている。

■本事業で作成されたホームページ■

町会・自治会の概要

町会・自治会ではどんなことをしているの？

区内の町会・自治会は、『知りあひは、ふれあひは、』を大切にし、『交流あひはのびのびの町会』をコンセプトに、「自分たちのまちを自分たちで守ろう」と、あひあひが助けあひ、親睦を深けながら、安全で安心なまちづくりに取り組んでいます。

町会・自治会の活動はさまざまですが、その一例をご紹介します。

- ◆防災訓練や防災体験の開催
- ◆環境美化の取り組み
- ◆町会・自治会連日の発行
- ◆町内の見守り（パトロール）

防災訓練の様子

花祭り

町の様子や町会の活動の紹介

町内パトロールカー

- ◆子どもの見守りや夏休みの防災訓練
- ◆町内の親睦会やお祭りやイベントの開催
- ◆町内の清掃や資源のリサイクル活動
- ◆災害時要援護者支援の取り組み
- ◆交通安全の取り組み
- ◆社会福祉協議会や日本赤十字社、赤い羽根共同募金への協力
- ◆区役所、警察、消防隊などの行政との連携
- ◆近隣町会との連携

世田谷の町会・自治会

世田谷区町会自治会連合会ホームページ

町会・自治会への加入方法

町会・自治会に加入するには？

町会への加入は所属の町会、所属の町会会費の納入開始日などから、下記へご連絡ください。

ご希望の町会・自治会の名前がいらっしゃいますか？

→ 本会の会費案内はコチラ

よくわからない場合

→ 下記にお問い合わせください

町会・自治会への加入・退会に関するお問い合わせ先

世田谷区町会自治会連合会 電話・FAX 03-6491-3496

加入申し込みフォーム

町会・自治会への加入申し込みフォームから、加入の手続きができます。

町会・自治会への加入申し込みフォーム

世田谷区町会自治会連合会について

町会・自治会の概要

町会・自治会って何ですか？

町会・自治会は、居住している土地場所を関係としたつながりあひ、地域に委ねる形で、その起源は戦前までさかのぼるとされており、住みよい地域社会をつくるための役割を果たすことが期待された組織です。

関東・関東大震災では、高齢者の安否確認や避難所の運営などで大きな役割を果たしたことで注目されました。

世田谷区では、町会・自治会の連合会（世田谷区町会自治会連合会）が結成されており、平成22年2月現在、196団体が加盟しています。

（出所：世田谷区町会総連合会ホームページ）

事業の取り組み、地域への波及効果

ホームページの作成による効果としては、ホームページの作成によって、地域コミュニティの基盤である町会・自治会活動の活性化と会員の加入促進が期待でき、町会・自治会が中心になって、地域の住民や団体との「絆」を強化し、地域の課題を解決できる「地域力」を向上させることができることである。

公開後、地域、地区及び単一町会において、町会・自治会活動の情報発信による活性化への取り組みの意識が向上した。住民からは、町会総連合会ホームページ閲覧者からの町会・自治会加入申込みや、「お知らせ」コーナーへのファックスによる意見が寄せられるなど反響があった。町会・自治会においては、町総連ホームページでの町会・自治会活動PRの要請や、相互リンクによる連携を目指した取り組みを実施、今後もコンテンツの充実を図っていく。

事業者については、不動産関連事業者から町総連及び区役所への町会・自治会に関する問合せが増加したことが挙げられる。

東京都による助成が役立った点

本事業の助成金を受けて、大変ありがたく活用させていただいている。まとまった資金をいただけたことで、地域の住民や団体との繋がりを築くツールとなるホームページを作成し、それぞれの地域が情報を発信できる仕組みを整備することができた。規模の大きな事業をできたことは大変ありがたい。

今後の助成事業の活用

今回の助成を受けて作成したコンテンツを、今後いかに有効に活用していくかが重要であると考えている。今後、単一町会・自治活動広報の充実を図り、町会・自治会活動のPR機能、単一町会・自治会の応援機能、参加・交流・新鮮で魅力がある情報の発信機能が発揮できるホームページ運営を行う予定である。町会で個別にホームページを開設するには経費もかかるため、町会総連合会のホームページで個別町会の活動内容等を紹介できればと考えている。そのために取組の記事等を住民の方から寄せていただく必要があり、「町総連ホームページ説明会」において参加（投稿方法）に関する説明を行う。